

理事長 所信表明

2018年度理事長

阿部 徹 TOORU ABE

(株)セイコウ 代表取締役
2010年度入会



はじめに
二〇〇七年、大学を卒業し、両親が経営する小さな不動産会社へ就職しました。父は私に「私たちが、地域の皆様に食べさせてもらっている」と語り、仕事を覚えるよりも地域への参加を優先させました。
地域の先輩方は、当たり前のように、社会人としての基本を厳しくも優しく教えてくださり、青年会議所という組織を知り、ここで多くの仲間と出会い、様々な役職を経験し、仕事以外の世の中を知りました。
語らい、汗を流し、共に助け合うことで「仲間と一緒活動することの大切さ」と「仲間を思うが故の厳しさ」を学び、会社を引き継いだ今、父の「地域の皆様に食べさせてもらっている」とい

う言葉を心に刻み、地域に少しでも恩返しするため、この組織で仲間と共に活動して参ります。
青年会議所の役割とは
より良い一関にすべく、地まぬ努力と情熱を青年会議所活動に捧げてくれた先輩たちと、それを支えてきた地域の皆様に、敬意と感謝を忘れてはなりません。
青年会議所は主体性をもつ組織であり、自ら事業を企画し実行できます。青年会議所の役割は「その時々社会や地域の課題を把握し、解決していく事業を展開する」「活動を通して、今後地域のリーダーとして活躍できる人材を輩出する」ことだと考えています。
六十三年もの「信用」があるということを肝に銘じ、運動を展開して参ります。

地域を
自分のこととして
考えよう
今後、少子高齢化や人口減少が見込まれます。生産年齢人口の減少は、労働不足や後継者不足、産業の低迷やそれに伴う雇用の減少による地域経済の縮小に繋がります。地域の活動や文化継承が困難になります。
一関青年会議所では、人口減少による地域課題を関係各所と情報共有し「生産年齢人口の確保」と「地域の担い手を育成する」事業を主とし、地域の活力を創出します。若い世代が地元への就職や故郷に戻るといふ選択肢をもてるよう行政や地元企業と協力し、将来の地域の担い手を増やします。
また、本市では、就農人口の減少が目立ち、他産業に比べ減少率が高くなっています。実態と従事者減少の要因を把握し、一関の農業の魅力を感じて機会を創出して職業として農業が選択される事業を行います。
一関夏まつりで、四十年間継続してきた時の太鼓大巡行。地域文化の継承は、市民の地元愛を醸成し、地域の活力へと繋がります。率先して地域文化の担い手となり、

多くの市民を巻き込みながら夏まつりを盛り上げます。さらに昨年、地域間交流や人材育成を目的とし、昨年度「JCCカップU-11少年少女サッカー大会」を開催しました。子どもたちが試合を通して、勝敗だけでなく、思いやりと感謝、目標をもって努力することの大事さを感じ、機会を本年度も引き続き作りまします。
これらの事業に加え、交流会や研修会を開催し、地域の青年同士で交流を深め、自己の研鑽を重ねながら、今後の地域のリーダーたる人材を輩出するため会員拡大に努めます。また、地域の皆様から信頼される活動となるよう、各種媒体を活用して積極的な情報発信して参ります。
結びに
一関で生活し、働いている私たちだからこそ地域の問題を自分ごととして捉え解決していかなくてはなりません。自分の成長が会社の成長に繋がります。地域の活力に繋がります。地域が良くなれば、私たちが目指す「明るい豊かな社会」に近づきます。
歴史と信用がある一関JCCで活動できることを自覚し、地域に恩返しができるよう勇往邁進して参ります。一年間よろしくお願いたします。

■ 2018年度 SLOGAN

勇往邁進

～巻き込み、やり遂げる力をもって～

■ 基本理念

自分の成長が地域の活力となると捉え、
自分のこととして地域のことを考えよう

■ 基本方針

- ・地域の担い手を創出、育成する事業の実施
- ・地域文化を継承し、賑わいを創出する夏まつり事業の実施
- ・スポーツを通じての地域間交流と人材育成事業の実施
- ・メンバーの資質向上の為の研修会の実施
- ・関係諸団体との緊密な連携